

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)		
ナンバリングコード	E21202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002560	クラス名	今西ゼミ
担当教員名	今西 衛		
履修上の注意、 履修条件	ゼミでは、どんな小さなことでも構わないので、まちの課題を自分自身でみつけて、ゼミの仲間と一緒に課題を解決する政策を議論してください。学生皆さんの議論が非常に重要です。わからないことは、一人で悩まないでください。また、議論だけだと、主観的になったり、感情的になったりするので、ものごとを客観的に捉え、論理的に説明できる(相手が納得できる)力を身につけてください。レポートは採点ご返却します。その他備考欄を参照すること		
教科書	みなさんの関心にあわせて適宜、紹介します。		
参考文献及び指定図書	増田寛也「地方消滅-東京一極集中が招く人口急減」、中公新書、2014 デービッド・アトキンソン「イギリス人アナリスト 日本の国宝を守る」、講談社+α新書、2014		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目他、詳しくは備考欄を参照すること		

○基本情報							
授業の目的	世の中で起きている社会現象を経験と勘のみでは、正しく理解できなかったり、問題の解決にはつながらないことがあります。 このゼミでは、科学的なデータから客観的に社会現象をとらえることで、政策評価を行う力(データサイエンス)を養ってもらいます。これらからの時代、A.I.にできない、創造力、マネジメント能力を身につけてもらいます。 ゼミナールIIA、フィールドスタディII、社会調査法の内容を踏まえ、持続可能(SDGs)な地域の課題を解決する能力を身につけます。						
授業の概要	大分都心部をフィールドとして、調査設計から、実査、分析、報告の流れを身につけてもらいます。その他、皆さんの関心に応じて、グループ分けを行い、ディスカッションや、課題抽出、提案へと結びつけます。 ゼミナールIIAの内容を発展させ、地域の方との交流や成果報告、提案も行います。 ゼミナールIIAに引き続き、地域に関心を持って下さい。適切な表現力やプレゼンテーション能力を習得し、チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力が身につけてください。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「グループワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」						
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。		20点	20点
【知識・理解】	まちの活性化に必要なこと、マーケティングの知識を身につけてもらいます。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。		10点	10点
【思考・判断・創造】	まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、新しいアイデアを出せるかを身につけてもらいます。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

毎回の講義で課題が課されます。したがって、毎回出席していないと、課題も提出できませんので注意してください。

Sレベル: ゼミの議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。

Aレベル: ゼミの内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。

Bレベル: 課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。

Cレベル: 課題解決の提案がない

課題は翌週ゼミの中で議論することでフィードバックします。他の学生の意見を聞いて、課題の内容をブラッシュアップするなどして、学習成果を上げてください。

○その他

履修上の注意
わからないことがあれば、その都度、講義時間内、あるいは研究室、メールなどで積極的に質問してください。小さな疑問から大きな関心につながる場合があります。

参考文献
橋本 行史 編著、(2015)、『地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-』、創生社、ISBN-13: 978-4794431585
デービッド・アトキンソン、(2014)、『イギリス人アナリスト国宝を守る』、講談社+α新書、ISBN-13: 978-4062728706
川原靖弘、斎藤参郎編著(2017)、『ソーシャルシティ』、放送大学教育振興会、ISBN-13:978-4595317187
大正大学地域構想研究所/日本青年会議所「地域再興会議」編著、(2018)、『別冊地域人 地方創生に役立つ!「地域データ分析」の教科書(地域創生のための総合情報)』、大正大学出版会 ISBN-13:978-4924297982
SAS Institute Japan株式会社、(2019)、『AI実用化のための実践ガイド～SAS Viyaではじめるアナリティクス・ライフサイクル入門～』、リックテレコム、ISBN-13:978-4865941821
Saburo Saito, Kosuke Yamashiro eds., (2019)、Advances in Kaiyu Studies: From Shop-Around Movements Through Behavioral Marketing to Town Equity Research (New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives)、Springer、ISBN-13: 978-9811317385
倉田博史、(2017)、『大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる』、KADOKAWA、ISBN-13: 978-4046020000

参考書
社会科学系論文の書き方、明石芳彦、ミネルヴァ書房、978-4623083794

関連科目
地域マネジメントコース必修科目: 社会調査法、まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、
演習科目: フィールド・スタディA、B、II、III、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査
講義科目: 地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、統計解析B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語

授業計画
講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB） 今西 衛	授業コード	E002560
学修内容					
1. まちづくりとは 大分都心部以外の現状について解説し、議論します					
予習	大分全体でどのような動きがあったのか調べて下さい。				約2時間
復習	議論をまとめて下さい。				約2時間
2. ディスカッション グループに分かれて、大分の現状、課題を挙げます。					
予習	どのようなテーマで研究したいかまとめておいてください。				約2時間
復習	グループ分けを前提としたテーマの設定を行ってください。				約2時間
3. テーマ分け テーマを分けてグループを編成します。グループ分けでは、それぞれが何をしたいのか発表してもらいます。					
予習	テーマ分けのための発表の準備				約2時間
復習	分かれたグループごとに役割分担などを決める				約2時間
4. 課題の列挙 それぞれのテーマの課題を挙げて下さい					
予習	グループごとに課題を設定してきてください。				約2時間
復習	分かれたグループごとに役割分担などを決める				約2時間
5. 政策提言 課題を解決するための政策を提言してください。					
予習	課題解決のためのPDCAサイクルを作ってください。				約2時間
復習	議論を踏まえた上で、PDCAサイクルを修正し、必要なデータを収集しなさい				約2時間
6. SASプログラミング データの分析のためにSASプログラミングを復習します					
予習	ゼミナールⅡA 第13回、第14回を復習しておく				約2時間
復習	SASを使うことができるようしておく				約2時間
7. データ分析 得られたデータを用いてSASで分析します。					
予習	データをSASにセットし、分析できるようにしておく				約2時間
復習	SASで得られた分析結果をレポートとしてまとめること				約2時間
8. レポートの作成 得られたデータから、地域の課題解決提案型のレポートを作成してもらいます。					
予習	課題を解決するためにはどのような提案が良いか考えてくる				約2時間
復習	議論を踏まえた上で、レポートを完成させる				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB） 今西 衛	授業コード	E002560
学修内容					
9. スライドの作成					
完成したレポートに合わせてどのように、スライドを作成するのか説明します。					
予習	レポートの要点をまとめておく				約2時間
復習	スライドが他人が聞いても分かるかどうか相互にチェックする				約2時間
10. プレゼンテーション1					
いくつかのグループに分かれて、発表してもらい、みなさんで評価しあいます。					
予習	発表の練習をしておく				約2時間
復習	他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる				約2時間
11. プレゼンテーション2					
いくつかのグループに分かれて、発表してもらい、みなさんで評価しあいます。					
これ以降は特にプレゼンテーション能力を高めます。					
予習	スライドを修正しておく				約2時間
復習	他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる				約2時間
12. スライドの修正					
プレゼンテーションをもとに、スライドを修正します。					
予習	発表の練習をしておく				約2時間
復習	他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる				約2時間
13. プレゼンテーション3					
修正したプレゼンテーションを行います。					
予習	発表の練習をしておく				約2時間
復習	他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる				約2時間
14. プレゼンテーション4					
修正したプレゼンテーションを行います					
予習	発表の練習をしておく				約2時間
復習	他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる				約2時間
15. まとめ					
テーマごとに総括します。					
予習	この講義の内容をノートにまとめてください				約2時間
復習	ゼミナールⅢにつながるよう、継続的に活動を行ってください				約2時間
16.					
定期試験なし					
予習					
復習					